

## アルコール専門医療機関における身体科からの紹介数について

### 調査概要

- 身体科・精神科医療機関が、アルコール専門医療機関につなぐ際の課題を把握するとともに、連携体制(SBIRTS)を促進することを目的として、「第8次大阪府医療計画」及び「第2期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画」に基づき、府内アルコール専門医療機関(15機関)を対象に、下記のとおり調査を実施

- ・調査対象：府内アルコール専門医療機関(15医療機関。うち病院9医療機関、診療所6医療機関)
- ・調査内容：他医療機関からの紹介数(アルコール健康障がい関連)
- ・調査対象期間：令和6年4月1日～令和6年9月30日の半年間

### <参考>

○第8次大阪府医療計画(令和6年3月29日策定)

計画期間：令和6年度～令和11年度

第7章第5節精神疾患3(1)多様な精神疾患等の対応

指標：アルコール専門医療機関における身体科からの紹介数

○第2期大阪府アルコール健康障がい対策推進計画(同日策定)

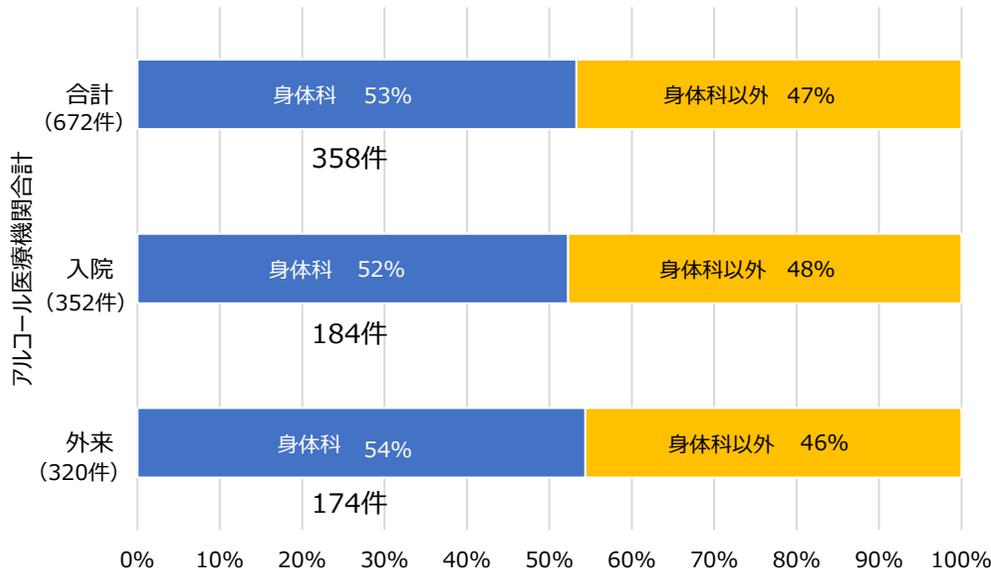
計画期間：令和6年度～令和8年度

基本方針Ⅲ治療体制の強化 取組施策⑦アルコール健康障がいに係る医療の推進と連携強化

指標：アルコール専門医療機関における身体科からの紹介数

医療機関名称	所在地
特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院	高槻市
特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山クリニック	高槻市
地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪精神医療センター	枚方市
医療法人 東布施野田クリニック	東大阪市
医療法人 孟仁会 東大阪山路病院	東大阪市
一般財団法人成研会 結のぞみ病院	富田林市
医療法人和気会 新生会病院	和泉市
医療法人聖和錦秀会 阪和いずみ病院	和泉市
医療法人利田会 久米田病院	岸和田市
医療法人微風会 浜寺病院	高石市
医療法人以和貴会 金岡中央病院	堺市
医療法人 藤井クリニック	大阪市
医療法人 小谷会 小谷クリニック	大阪市
医療法人 孟仁会 悲田院クリニック	大阪市
とじまクリニック	大阪市

【図表1】患者紹介元医療機関に占める身体科・身体科以外の割合



### <調査様式>

●他医療機関からの紹介数(紹介状の数)

(期間：令和6年4月1日から令和6年9月30日)

●対象：アルコール健康障がい関連

※外来及び入院について、当該紹介により、速やかに入院となった場合は <Ⅱ.入院>へ、それ以外は <Ⅰ.外来>へ計上ください。

#### <Ⅰ.外来>

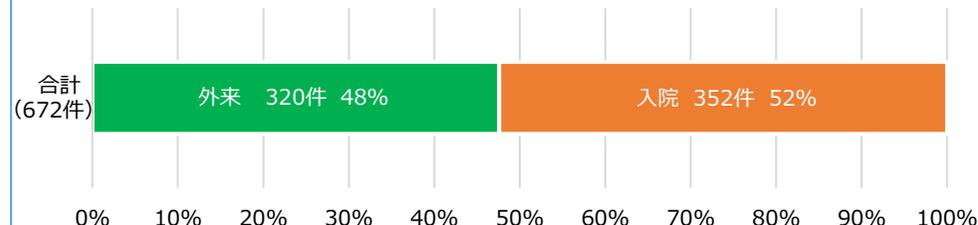
	病院から(件)	診療所から(件)	合計(件) (自動計算)
① 他医療機関からの紹介数			0
② ①のうち、身体科 <sup>※</sup> からの紹介数			0

※ここでいう身体科とは、精神科以外の診療科を指します。

#### <Ⅱ.入院>

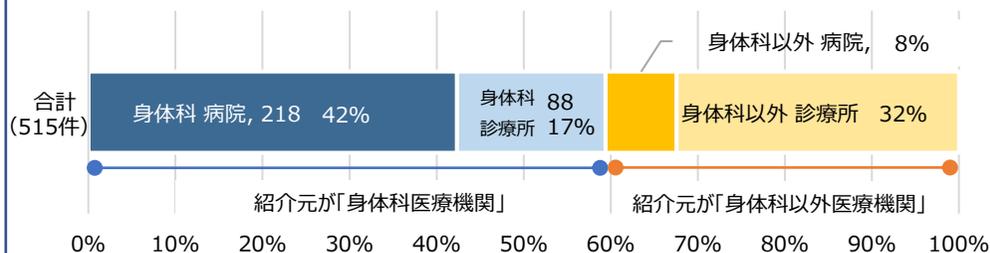
	病院から(件)	診療所から(件)	合計(件) (自動計算)
① 他医療機関からの紹介数			0
② ①のうち、身体科からの紹介数			0

【図表2】外来と入院の割合

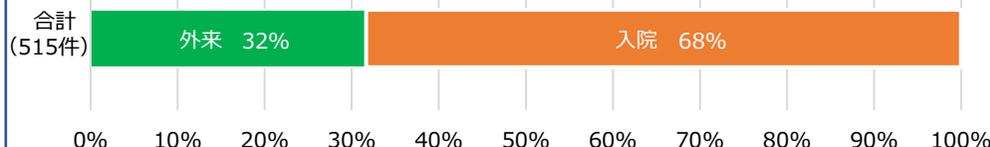


## 専門医療機関(病院)

【図表3】患者紹介元医療機関に占める身体科・身体科以外、病院・診療所の割合



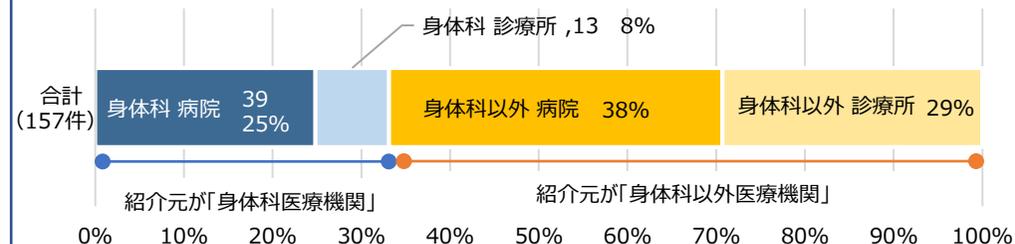
【図表4】外来・入院の割合



- 身体科医療機関からの紹介が全紹介件数の約6割(306件)を占め、その多くは病院(身体科医療機関の約7割を占める)。【図表3】
- アルコール専門医療機関(病院)では、入院による紹介が約7割(352件)を占めている【図表4】

## 専門医療機関(診療所)

【図表5】患者紹介元医療機関に占める身体科・身体科以外、病院・診療所の割合



- 身体科医療機関からの紹介が全紹介件数の約3割(52件)にとどまっている。【図表5】
- アルコール専門医療機関(診療所)と身体科との連携を、次頁以降の取組みを通じて広げていく必要がある。

# 身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携推進について

## 連携を推進していくための取組について

### 「アルコール関連問題のある人への簡易介入マニュアル」の改訂

アルコール依存症に対応できる医療機関の裾野を拡げるとともに、身体科・精神科医療機関が、アルコール専門医療機関や自助グループ等との連携体制(SBIRTS)を促進するため、平成30年度に簡易介入マニュアルを作成。令和6年2月に国が作成した「健康に配慮した飲酒に関するガイドライン」等を踏まえ、本年11月に改訂を実施。

#### 《主な改訂内容》

- ・疾病別の発症リスクと飲酒量を掲載し、少しの飲酒でもリスクが上がる疾病があることを明記
- ・「適正飲酒」の文言を削除
- ・おおさか依存症ポータルサイトにおいて、新たにAUDITや純アルコール量を自動計算するシステムを搭載したため、サイトのQRコードを掲載

#### 《SBIRTSの推進》

スクリーニング	簡易介入	専門治療への紹介	自助グループ等への紹介
「飲酒度」により、ふるいわけ	・「危険な飲酒」患者には減酒の治療・指導 ・「乱用」や「依存症」患者には断酒の治療・指導	専門治療の必要な患者には「紹介」を行う	医療機関などのスタッフが自助グループ等へ紹介する

### 「令和6年度 アルコール関連問題のある人への簡易介入マニュアル普及研修」の開催

簡易介入マニュアルの活用方法や身体科におけるアルコール関連疾患への介入等に関する研修を開催。【参加者92名(うち医師:50名、その他:42名)】

#### 【研修概要】

日時:令和6年12月5日(木) 午後2時～午後4時

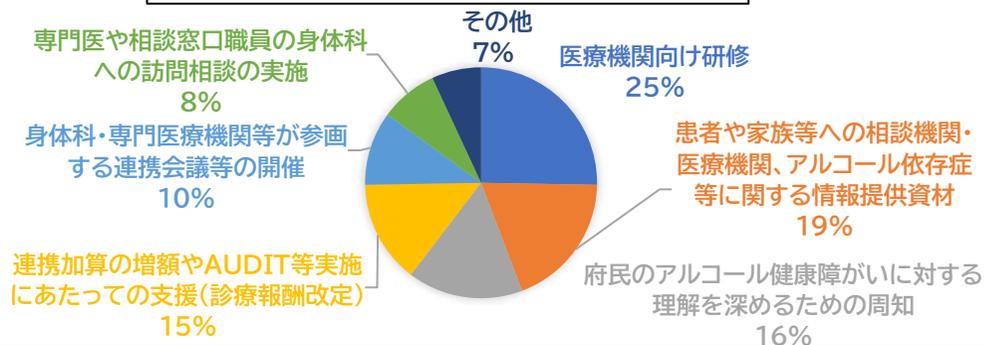
方法:ハイブリッド開催 会場(大阪府医師会館)、Web

内容:(1)アルコール関連問題のある人への簡易介入マニュアルについて(医療法人和気会 新生会病院 院長 和氣 浩三 先生)

(2)当科(消化器内科)におけるアルコール関連疾患に対する取り組みについて(社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 副院長 安 辰一 先生)

#### (参考)参加者アンケート

身体科医療機関とアルコール専門医療機関の連携を進めるにあたり、必要であると思うこと



アルコール依存症の疑いがある方への介入に関して、課題に感じておられること

- ・本人が問題と捉えないと受診や断酒会につながりにくい。
- ・忙しい外来で時間をとることが難しい。
- ・退院後のフォローができない。
- ・身体的に深刻な状態になって、やっと専門機関・医療機関へつながるケースが多い。
- ・身体的な自覚症状がないと受診してくれない。
- ・院内全体がアルコールの問題を抱えた患者さんに偏見があり、受け入れや対応に消極的である。
- ・専門医療機関の情報がない。

### 「アルコール関連問題啓発フォーラムinOSAKA」の開催

大塚製薬と共催で、アルコール依存症の診療に関する医師向けの啓発フォーラムを開催【参加者35名(うち医師:25名、その他:10名)】

日時:令和6年11月13日(水) 19:00～20:00 (Web)

座長:新生会病院 和氣先生 講演:大阪精神医療センター 入来先生、藤井クリニック 水野先生

# 身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携推進について

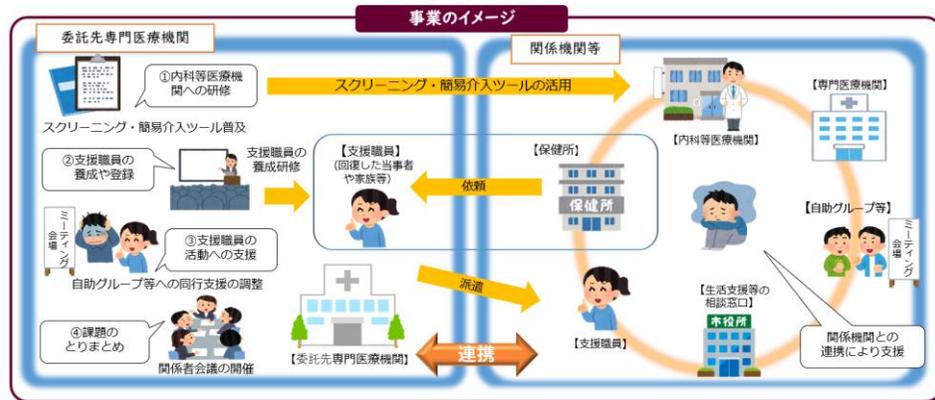
## 厚生労働省「地域連携による依存症早期発見、早期対応、継続支援モデル事業」の実施

### 令和5年度までの取組み（モデル事業第1期）

令和3～5年度に、アルコール専門医療機関である新生会病院（和泉市）に本事業を委託し、事業を実施。

#### <泉州スマイルSBIRTS 事業概要>

（目的）泉州二次医療圏で専門医療機関・保健所・断酒会が協力して地域連携体制(SBIRTS)の構築を推進



SBIRTS 医療機関等へのSBIの普及（特に診療所）

新生会病院  
 ・簡易介入ツールを作成・広く配布する  
 ・簡易介入の研修を行う

SBIRTS 保健所の相談機能を周知する

和泉保健所  
 岸和田保健所  
 泉佐野保健所  
 ・地域の相談機関として知られていない？  
 ・こころの健康相談の具体的な内容を周知

SBIRTS 専門医療機関以外でもSBIRTSを

大阪府断酒会  
 ・保健所等で支援員として自助グループ参加を支援

X 4回の研修会  
 （オンライン）

出典：令和5年度都道府県等依存症専門医療機関/相談員等合同全国会議 新生会病院 和氣 浩三氏 作成資料

### 令和6年度からの取組み（モデル事業第2期）

総合病院である関西医科大学総合医療センター（守口市）及びベルランド総合病院（堺市）に委託し、院内での診療科連携や専門医療機関、自助グループ等へのつなぎを実施。

#### <SBIRTSの推進>

##### 主な事業内容

- ・身体科に受診のあったアルコール健康障がい（疑い）のある患者に対し、スクリーニングテスト(AUDIT)を実施する。Screening
- ・テストの結果、アルコール依存症が疑われる場合は、自院の精神科や専門医療機関等への受診勧奨・保健所や自助グループ等の案内を行う。

##### Brief Intervention Referral to Treatment Self-help group

- ・アルコールの支援対象者について、自助グループなどとのつながりや治療の継続と、飲酒の頻度の関係等について把握（府への報告は個人情報部分は除く）。

